

1 考え方

2030年のSDGs目標達成に向け、自治体においても具体的な行動が求められている

- ・豊田市は2018年6月に「SDGs未来都市（SDGs達成に向けた取組を先導的に進めていく自治体）」に選定されている。
- ・また、国連は2020年から「行動の10年」を掲げ、取組の加速化を呼びかけており、2030年の目標達成に向けて、様々な主体（国、地域、企業など）がそれぞれのレベルで、具体的な行動に取り組んでいく（加速させていく）ことが求められている。
- ・本市においては、SDGsの目標達成に向けた取組と、総合計画における施策を一体的に検討していく。



本市独自の「ローカルゴール」「ローカルターゲット」を設定する

- ・本市が取り組むべき目標として、SDGsの17のゴールに加えて「本市独自の取組方針」（ローカルゴール）を設定し、目標達成を目指す。
- ・組織横断的な取組方針（ローカルゴール）及び取組目標（ローカルターゲット）の設定を通じて、新しい発想・様々な視点から分野を超えた施策を立案するプロセスにつなげていく。
- ・これにより、本市がこの5年間に重点的に取り組むべき方針を明確化するとともに、SDGsの目標達成に向けた取組を一層推進していく。

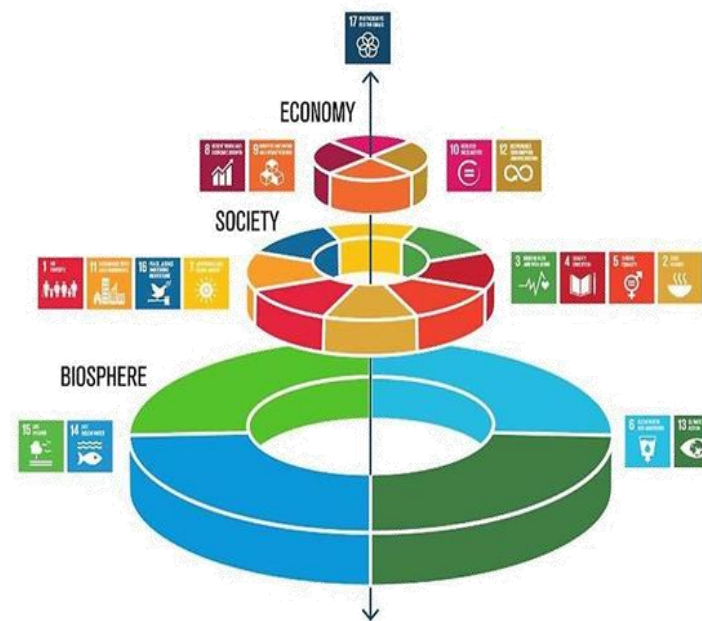
2 SDGsローカルゴール・ローカルターゲット（案）

- ・「（仮称）ミライ構想」の実現に寄与する「本市独自の取組方針」として、新たに以下のローカルゴールを追加し、17番目（パートナーシップ）のゴールと同じく、他のゴールを実現するための横断的な目標（横串）として位置付ける。
- ・また、取組方針を推進することによって達成したいめざす姿として本市独自の「取組目標（ローカルターゲット）」を市民参画等を通じて、今後、設定していく。

（参考：SDGsウェディングケーキモデル）

	アイコン (イメージ)	ゴール	設定理由
追加①	こどものミライに夢と希望を	こどものミライに夢と希望を	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>持続可能なまちづくりのためには、次世代を担うこどもの育成が必要不可欠。</u>子ども達が未来に向かって夢と希望を持ち、心豊かに暮らせるよう、「こども起点」「こども視点」で施策のあり方を考え、まちづくりを推進 (キーワード) 次世代、多世代、こどもの成長
追加②	暮らしに体験と感動を	暮らしに体験と感動を	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>まちに対する人の愛着は、全てのまちづくりの原動力。</u>原風景と先端技術が共存する本市の特徴を生かし、アート、スポーツ、伝統文化、ものづくり技術などの資源を都市のアイデンティティとしてさらに高め、日々の暮らしに体験と感動を創出するまちづくりを推進 (キーワード) アート・スポーツ、クルマのまち、アイデンティティ、体験、感動、自己実現

新たに追加するローカルゴールについては、17番目のゴールと同じく横断的な目標（横串）として設定



「こどもにやさしい社会」は「すべての人にやさしい持続可能な社会」

- （キーワード）
- ・次世代
 - ・多世代
 - ・こどもの成長

<追加のローカルゴール：横断的な目標として設定>

・持続可能なまちづくりのためには、**次世代を担うこどもの育成が必要不可欠**。こども達が未来に向かって夢と希望を持ち、心豊かに暮らせるよう、「こども起点」「こども視点」で施策のあり方を考え、まちづくりを推進

（豊田市版ウェディングケーキモデル）

つながりを通じた学び合いによりウェルビーイングを向上

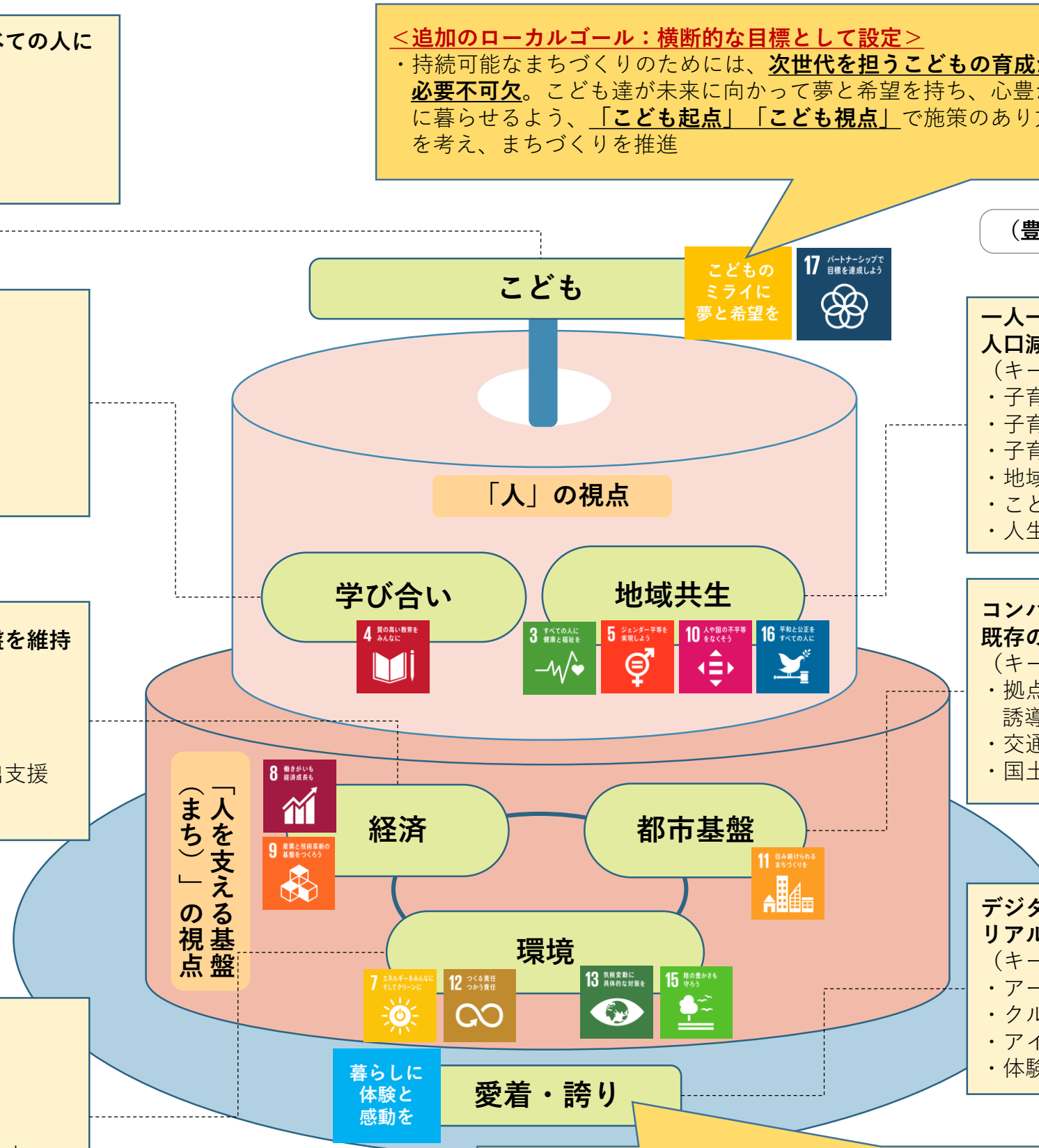
- （キーワード）
- ・こどもとアートスポーツ
 - ・こどもと伝統文化
 - ・こどもと地域での経験
 - ・こどもと学校内外での学び

持続可能な都市経営のため経済基盤を維持

- （キーワード）
- ・持続的な産業中枢拠点
 - ・産業構造の多角化・高度化
 - ・経済活動におけるデジタル化
 - ・スタートアップによる新産業創出支援
 - ・ものづくり技術の伝承

2050カーボンニュートラルに向け気候変動への緩和と適応が急務

- （キーワード）
- ・暮らしや産業の脱炭素化
 - ・2030CO2半減
 - ・資源生産性、持続可能な消費と生産
 - ・気候変動対策の推進
 - ・水素社会



一人一人の活躍による人口減少社会における共助の仕組みを構築

- （キーワード）
- ・子育てと多世代交流
 - ・子育てと労働環境
 - ・子育てと住まい・暮らしの多様性
 - ・地域共生社会
 - ・こどもまんなか社会
 - ・人生100年時代

コンパクト+ネットワークにより既存の都市・生活機能を最大限活用

- （キーワード）
- ・拠点性や防災を踏まえた機能集積・居住誘導
 - ・交通ネットワークの確立
 - ・国土強靱化

デジタル社会が進展する中、リアルな体験・感動の価値が高まる

- （キーワード）
- ・アート・スポーツ
 - ・クルマのまち、WRC
 - ・アイデンティティ
 - ・体験、感動、自己実現

<追加のローカルゴール：横断的な目標として設定>

・まちに対する人の愛着は、**全てのまちづくりの原動力**。原風景と先端技術が共存する本市の特徴を生かし、アート、スポーツ、伝統文化、ものづくり技術などの資源を都市のアイデンティティとしてさらに高め、日々の暮らしに体験と感動を創出するまちづくりを推進